

学校名	熊谷市立富士見中学校
所在地	熊谷市中央3-103
電話	048-521-0314

1 本校の概要

本校は昭和22年に開校した長い歴史と伝統のある学校で、学級数22、生徒数657名の大規模校である。「自立（自ら考え判断し行動できる生徒）・協働（仲間と話し合い、協力し課題を解決できる生徒）・貢献（他の喜びを自分の喜びとできる生徒）」を学校教育目標に掲げ、達成に向けて日々教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

朝会の日を除く毎朝の10分間、教職員が生徒と共に朝読書に取り組むことにより、読書に親しむ態度や読書習慣の定着を図っている。また、学校図書館補助員の協力により、蔵書のデータベース化や図書室の環境整備を進めることで、より活用しやすい図書室の環境作りを目指している。

ア 朝読書

図書委員が朝読書開始5分前の予鈴が鳴ると、本の準備や着席を呼びかけ、前に出て読書を行う。また、最初の委員会時に様々なジャンルからセレクトした学級文庫BOXを配り、読書環境の充実を図った。

イ 図書委員会の活動

・図書委員が新着図書からお薦めの本を選び、本の紹介ポスターを作成し、新刊図書への関心を高めている。作成されたポスターは生徒の目に入りやすいように、図書室前のショーケースに掲示した。



・12月の生徒朝会では、「本の貸出し」や「図書室利用のマナー」等を確認し、誰もが気持ちよく図書室利用ができるような呼びかけを行った。また、今年度の

新着図書の紹介や、読み聞かせをして本への興味・関心を喚起するとともに、来室のきっかけづくりを行った。

ウ 新刊図書・特設コーナー、新聞コーナーの設置

新刊図書は、読書をする生徒の目に入りやすい位置にコーナーを設置し、紹介している。また、新聞コーナーを配置し、閲覧しやすいようにしている。「朝日中高生新聞」や「読売KODOMO新聞」から記事を選び、廊下に掲示することで、時事に関する興味もてるようにしている。



エ 環境整備

劣化している掲示物もあったため、新しく掲示物を作り直した。また、図書室利用の気持ちを高めるために、図書室前廊下の掲示物も定期的に更新するなど、工夫を図った。



オ リクエストボックスの設置

蔵書数が増加しても活用されないのでは意味がない。そこで、リクエストBOXを設置し、読みたい、授業で活用できる、進路学習に役立つ等で希望を取り、図書選定に繋げている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

生徒と教職員が共に朝読書に取り組む活動を続けた結果、朝の落ち着いた雰囲気定着し、朝のスタートがしっかりとされるようになった。また、図書委員の呼びかけにより、図書室利用者も増加している。

(2) 課題

利用者にはまだ偏りがある。恒常的に利用する生徒を更に増やしていきたい。授業での図書室利用はまだ少ない。授業で活用しやすい図書室への改善と工夫を図っていきたい。